

2019 年度

事業計画書

2019年4月1日～2020年3月31日



社会福祉法人

神愛会



社会福祉法人神愛会
2019年度 事業方針・計画

《神愛会の理念》

「キリストの愛を以って互いに仕える」

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と言われたイエス・キリストの戒めに従い、キリストと同じ愛を以って、助けを必要とするすべての人のために奉仕します。

《神愛会の使命》

神愛会は、「キリストの愛を以って互いに仕える」ことを基本とし、すべての人が個人として最大限に尊重され、人生の最後の瞬間まで尊厳をもって生きることができるよう、あらゆる努力を継続して一人一人の自律した生活を支えます。

《事業方針》

1. 常に神愛会の理念に立ち返り、利用者本位のサービスに努めます。
2. 利用者の豊かな生活を支援するため、常にサービスの質の向上に努めます。
3. 福祉専門職としての資質向上を目指し、常に自己の研鑽に努めます。
4. 地域に開かれた事業を進めるため、様々な人々と連携に努めます。

《事業計画》

— 「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。 —

【丁寧】 注意深く念入りであること
細かい点にまで注意が行き届いていること
動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

1. 理念の継承
 - ① 神愛会の基本理念・使命を継承する活動を進めます。
2. サービスの質の向上
 - ① 特別養護老人ホーム（ショートステイを含む）では、認知症介護と看取り介護の充実を図り、より安心・安全な生活を実現する介護を実現します。そのための介護・看護職員の充実に傾注し、閉鎖中ユニットの早期再開を目指します。
 - ② デイサービスセンターでは、利用者一人一人が営む日常生活全体を丁寧に見つめ、住み慣れた自宅での生活ができるだけ継続していくために必要な健康及び体力の増進、日常生活動作、そして生きる意欲の向上を図ります。また、利用者に対するすべてのケアにあっては丁寧に科学的な根拠を求めながら実践していきます。

- ③ 生馬施設において、献立と介護食の充実を目指し給食にクックチル方式を採用して豊かな食事の提供を図ります。
- ④ 深和ホームでは、高齢化に伴い訪問介護・訪問看護との連携、施設の維持管理に対応し、入居者の安心、安全への対応に努めます。
- ⑤ 居宅介護支援事業では、引き続き上富田町を中心にした地域包括ケアシステムの実現に努めるとともに、この圏域で仕組み作りが進められている在宅医療・介護の連携システムがより円滑に機能するように最大限の協力をしていきます。
- ⑥ 地域における公益的な取り組みを検討し実施します。
- ⑦ 介護職員の養成事業（介護職員初任者研修）を実施します。

3. 職員の資質の向上

- ① 園内研修内容を充実させ、効果的な職員研修を実施します。
- ② 介護職員の定着と養成のための研修を実施します。
- ③ 介護福祉士他専門資格の取得を支援します。

4. 地域の人々との連携

- ① 地域の医療・保健・介護機関との連携を強化します。
- ② ボランティア活動を充実させます。
- ③ 後援会、家族の会との協働を充実させます。

5. 岩田旧施設の整理

- ① 岩田旧施設整理のための検討を継続します。

2018年度 法人本部 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)	
1 理念の継承	①理念・使命の継承	i 年間を通じて ii チャプレンによる講話	i 新採用者への理念・沿革の研修 チャプレンによる研修 朝の祈りの継続 聖社連大会への参加	i 聖マリア院の活用 日曜礼拝への参加 チャプレンとの交わり 聖公会に連なる社会福祉事業を学ぶ	
	①地域貢献事業への取り組み	i 社会福祉法人の地域貢献活動への取り組み ii 社福軽減の拡大 iii その他の課題の検討と実施	i ii 本部事務局で実施 iii 社福軽減以外の項目で神愛会が出来る事を検討し、取り組みを開始する。	i ii 本部事務局で実施 iii 社福軽減以外の項目で神愛会が出来る事を検討し、取り組みを開始する。	
2 サービスの質の向上	②特養・ショート介護職員の充足と養成	i 閉鎖中のユニットの再開 ii 特養・ショート職員10名(上半期5名・下半期5名)の確保	i 本部事務局・特養施設長による	i 可能な限り採用面談の機会を設ける。 ii 少ない応募者の確実な定着を図る。 iii 外国人技能実習生受入れの検討。	
	②認知症ケア・看取りケア	i 実践的な認知症ケアの導入 ii ユニットリーダーの育成 iii ユニットケアの進展	i 認知症介護実践者研修 ii ユニットリーダー研修 iii ユニット活動計画の実施	i 認知症介護実践者研修 ii ユニットリーダー研修 iii ユニット会議で i・ii 参加者によるフィードバックの実施 iii 期中での進捗状況点検	
	③設備維持・防災	・防災訓練の充実 ・緊急呼び出し訓練	・防災訓練(年2回)の実施(初期消火・避難誘導) 夜間想定訓練6月実施 昼間想定訓練12月実施 ・毎年1回実施	・上富田消防署及び防火管理者による消火器・消火栓取扱指導説明 ・防災訓練の見直し ・緊急連絡網による呼び出し訓練の見直し及び実施	・行動表作成及び詳細説明 ・消火器及び消火栓の基礎的説明、実地訓練 ・役割担当職員を対象に事前説明を実施 ・呼び出し訓練日の予告
3 職員の資質向上	①研修の見直し・充実	i 新人研修の充実 ii 新人介護職研修の充実 iii 職員研修の充実 iv 人権にかかわる研修の充実 v 研修講座の地域への開放	i 採用後1週間以内の基礎研修 ii 採用後1か月以内の介護基礎研修と1年間のOJT研修によるフォローアップ iii 分野ごとに相応しい研修が受講できるように研修を細分化し、それらに到達目標を設定 iv 社会問題化する養介護施設従事者等による虐待など人権侵害を未然に防止する v 各月程度の割合で法人で開催する研修の一部を地域の介護関係者に開放	i 施設長・管理者・事務長 ii 介護主任・副主任・実習指導者・ユニットリーダー iii ケアワーカーおよび事務スタッフなどにおいては、年間3回程度事前および事後課題を含めた研修を行い、参加者自身の能力を覚知するとともに、それより高い能力の獲得を目指すようにする。調理スタッフについてはより良い食事の提供に向けた実習を加える iv 法人のすべての職員 v 研修担当者が研修を企画し、法人内外の介護関係者に有益な講師を調整する	i 新人指導チェックリストを用いたフィードバックの実施 ii 新人指導チェックリストを用い12か月のOJT研修を計画的に実施 iii すべての職員が専門職としての価値や技術、知識を確実に定着させ、実際の業務に活かせるように研修プログラムを工夫し各研修の達成目標に到達できるように研修委員が中心となって丁寧にかかわっていく iv 集合研修の時間は限られているため、人権侵害にかかる啓発をさまざまな媒体でお行えるようにする v 法人で開催する研修を社会貢献の一環で地域に開放し、共に介護技術や知識などを高める機会とする

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
②研修参加と資格取得	i ユニットリーダー研修 ii 権利擁護推進員研修 iii 認知症介護実践者研修 iv 介護福祉士実習指導者研修 v 介護福祉士・介護支援 専門員資格取得	i ~ iv 年間を通じて v 試験対策として	i 前期・後期各1名の参加 申請 ii ~ iii 和歌山県主催研修 に参加 iv 介護福祉士会研修に参 加 v 個別学習の援助 勉強会の開催 模擬試験への参加	i ~ iv 外部研修情報の 提供 職員の興味・関心を重視 した参加者の選考 参加者によるフィードバッ クの実施 v 受験資格者への働き かけと費用負担を含むサ ポートを実施
4 地域との 連携	①ボランティアの充実	年間を通じて	i 送迎の継続 ボランティア向け研修の 実施 iii ボランティアの集いの 実施	iii ボランティア参加者の 意向を尊重した集いや研 修の開催
	②後援会・家族の会との 連携	i 年間を通じて ii 敬老の日	i 両会の事務局を担当	i 会報・会合の充実 ii 催しの計画を早期に開 始
5 旧施設 整理	①旧施設整理の進展	年度内の計画策定	本部事務局において検討	本部事務局において検討

B. 主要月次計画

	4月	5月	6月	7月
上旬	2日 全体職員会		家族の会役員会 後援会役員会	
中旬	職員健康診断 消防設備点検		評議員会	近畿老施協研究大会
下旬		理事会		
	8月	9月	10月	11月
上旬			緊急呼出訓練(生馬)	3日 逝去者記念礼拝 建築物定期検査
中旬			消防設備点検	理事会
下旬		30日 創立記念日 昼間想定防災訓練(生馬)		
	12月	1月	2月	3月
上旬				理事会
中旬	職員忘年会			
下旬	25日 クリスマス礼拝・祝会			夜間想定防災訓練(生馬)

2019年度 特別養護老人ホーム(ショートステイ) の課題・目標

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 取組課題

	事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるための具体策
2 サー ビス の 質 の 向 上	①ユニットケアの充実	各部固有課題への取り組み	①ケアプランに沿ってケアができているか。 ②24時間シートを作成できているか。 ③新人職員の指導ができているか。 ④ターミナルケアは充実しているか。 ⑤感染対策はできているか。	①ケアプラン会議、ユニット会議にて検討しながら実施していく。 ②担当を決めて作成し観察しながら更新し、それに沿って業務を進行していく。 ③その時のシフトの職員が丁寧に寄り添い教えていく。 ④⑤勉強会や研修で学ぶ。	多職種合同の会議にて課題を検討する。 職員間の相談をより密に行う。
		①24時間シートの充実を図りケアプランに沿ったケアを実践する。	①通年	①24時間シートは利用者毎の担当者によりアセスメントを行い、ケアプラン会議、ユニット会議で策定し実施する。各部署間の連携を図り、的確な相談援助や緊急時の対応等ができるように業務にあたる。 ②利用者の日常生活やニーズを正確に把握し異常の早期発見に努める。指差し確認等、具体的な行動により確認を徹底。カラオケ・テレビ体操・やまびこ会・マリア会等、楽しさを伴う種目を提供する。	多職種によるカンファレンスで詳細に検討する。看取りの振り返りカンファレンスを実施する。 入居契約の際に、相談苦情への受付窓口の説明を徹底する等の丁寧な対応を行う。
		入居者の権利擁護を図り、快適な入居生活を支援する。	通年	各部署間の連携を図り、的確な相談援助や緊急時の対応等ができるよう業務にあたる。	入居契約の際に、相談苦情への受付窓口の説明を徹底する等の丁寧な対応を行う。
	②医療・機能訓練の充実	入居者・利用者異常の早期発見 誤投薬の予防	通年・随時	異常の早期発見に努める 為観察・報告・連絡・相談の徹底 複数の眼での確認	多職種連携により情報の共有 写真などの活用正しい知識・冷静な判断と行動・報告・連絡・相談の徹底
		ケアプランに沿った個別 機能訓練の提供	通年	カラオケ、テレビ体操、やまびこ会、ヨガ、園での生活を楽しく過ごす頂く様種目を提供 居室を訪問し他動運動を実施	機能訓練指導員と介護職員との分担により、個別的な機能訓練メニューを実施する。
	③食生活の充実	新しい調理システムの導入 衛生管理の徹底	通年	・自分の役割を把握して作業する。	・分からない事や改善点があれば、その都度話し合い、解決する。
通年			・調理室内を清潔に保つ ・毎朝の衛生チェック	・午前、午後の業務終了後の盛り付け台、冷蔵庫の取っ手等へのアルコール噴霧 ・シンク、調理台、冷蔵庫の取っ手等の汚れを随時きれいにする。 ・月一回の大掃除の実施 ・体調の自己管理に努める。	

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 取組課題

	事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるための具体策
	④新規入居者への迅速で丁寧な対応	入居契約時、ご家族にわかりやすく丁寧に説明する。	通年	入居契約日までの手続き準備書類のチェック表を活用する。	入居契約の説明と契約日を別に設け、契約書類の説明後、ご自宅でゆっくりと書類に目を通す期間を設ける。 疑問点や不安な点を十分に伺い納得して入居できるよう配慮する。
	⑤社会資源としての施設の有効活用と利用者の獲得	閉鎖中ユニットの受け入れ再開	通年	介護職員の補充に全力を挙げできるだけ速やかに再開する。	介護職員の定着のためシニアスタッフによるきめ細かい指導を行う。 勤務環境の不備・不足がないか点検を実施する。
		退居後の空室期間を可能な限り短縮し、資源の活用を図る	通年	入退居手続きを迅速に行い、空室が続くことを防ぐ。	新規申込時の面接、待機者情報の更新を毎月行う。
	3 職員の 資質向上	①研修の見直し・充実、資格取得	研修参加と資格取得	介護福祉士資格取得 介護支援専門員取得 外部、部署内、内部研修参加	部署内研修 外部研修 園内研修 勉強会の開催
正しい医療知識の習得			通年・随時	情報交換の徹底	各職員のスキルアップの 為内部・外部の研修参加
新しい調理システムの導入			通年	・自分の役割を把握して作業する。	・分からない事や改善点があれば、その都度話し合い、解決する。
新採用職員へのきめ細かな指導に努める			通年	新採用者毎に担当職員を配置する。 新入職員指導チェックリストの活用	新採用者・担当職員の連携を緊密に行う。 働きやすい環境を整備する。
4 地域との 連携	①ボランティアの充実	ボランティアを行いたい方と園との日程を調整し、積極的に受け入れていく。	通年	愛の園ホームページなどを使用し、積極的にボランティアを募集する。	ボランティアに来て下さる方がスムーズに進めて行けるよう代表者の方と連絡を密にし、受け入れ準備を行う。
	②家族の会、後援会との連携	家族の会や後援会が行う活動との連携を図り、支援をしていく。	通年	後援会、家族の会の事務局業務を行う	家族の会・後援会役員等との連携を密にし、より良い運営が出来るよう支援する。 家族の会・後援会の会報を年2回発行し長期入居者ご家族への活動の紹介と勧誘を積極的に行う。

2019年度 特別養護老人ホーム(ショートステイ) の課題・目標

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

B. 主要予定

	4月	5月	6月	7月
			食中毒予防強化月間	
上旬		入居者定期健診		七夕飾り
中旬	イースター	ウエスタンリーグ観戦	家族の会・後援会役員会	
下旬		春の遠足		夏の模擬店
	8月	9月	10月	11月
	食中毒予防強化月間			
上旬	夏祭り			運動会
中旬		敬老の日「一日我が家」祝膳	秋の遠足	入居者定期健診
下旬		創立記念日	岩田幼稚園運動会観覧	
	12月	1月	2月	3月
	感染症予防強化月間			
上旬		祝賀朝礼 正月祝膳(お節)	節分豆まき	雛祭り祝膳
中旬				
下旬	クリスマス礼拝・祝会・祝膳 餅つき			

2019年度 ユニット活動計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】 注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

U	今年のテーマ	改善に取り組む内容 (課題・実施時期・進め方など)	丁寧に実施していくための具体策 (方法・心掛け・目安など)
1	1 統一した個別ケアの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット職員同士・他部署との連絡報告相談の徹底 ・ 職員同士の信頼関係を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の状況を把握し共有する。入居者の少しの変化を見逃すことのない様目配り・気配りを心掛ける ・ チームケアが重要だという事を意識し支援していく。職員同士 意見を出し合い話し合いが出来る雰囲気を作り出す。
2	1 個別ケアの把握と統一	1 入居者それぞれの出来る事、出来ない事を把握し職員の都合や職員により異なるケアではなく、入居者主体の統一したケアを提供できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員が入居者の現状を把握し情報を共有する。 ・ 意見交換がしやすい雰囲気作りを心掛ける。
3	1 入居者の状況把握 2 ヒヤリハット・事故報告について	<ol style="list-style-type: none"> 1 各職員が一人一人の入居者の状況や体調などを把握しケアに繋げ、他の職員との共有を図る。 2 入居者の行動を把握し情報を共有し危険を予測して見守りを強化、また援助に繋げる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ユニット職員間での申し送りの徹底、話合いを密に行い、情報共有を行う。また、他部署との連携を図る。 2 気の緩みや怠慢、過信しない事。常に緊張感を持って援助する。周りの環境や介助の仕方等危険がないか予測して行動する。
4	1 多職種連携のもと、個別ケアを支援する。	1 個々の意向や状況に応じて支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し送りメモを活用し、他部署との連携を密にする。 ・ 職員1人1人が現状を把握し、ユニット内で情報を共有し合える雰囲気づくりを心掛ける。
6 ショート	1 個別ケアで安定した生活を支援	1 個々の利用者の意向や状態変化を把握し、職員間で情報共有する。他部署と連携し、必要時は、ケアの変更や改善をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し送りノート、メモを活用し、ユニット職員間で情報共有する。 ・ 利用者の日常生活やコミュニケーションからの気づきを、職員間で意見交換していく。
7	1 ユニット職員、他部署との連携をとる 2 入居者1人1人のケアの把握 3 丁寧な仕事をする	<ol style="list-style-type: none"> 1 ユニット内、他部署の(報告、連絡、相談)をこまめに取る 2 申し送りノート等の細かな記入と毎日目を通し自身で把握すること 3 自身のペースや入居者のペースに合わせて丁寧な仕事をする 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ・入居者の変化等些細な事をユニット職員、他部署に報告、連絡、相談し合い、常に話し合う 2 自身で申し送りノートに目を通し把握する、意味が分からなければ聞き把握する 3 一つ一つ丁寧な仕事をする。

2019年度 ユニット活動計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】 注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

U	今年のテーマ	改善に取り組む内容 (課題・実施時期・進め方など)	丁寧に実施していくための具体策 (方法・心掛け・目安など)
8	1 安心できる生活	<p>① けが、事故の予防</p> <p>② 過ごしやすい場であるか</p>	<p>① ヒヤリハットの振り返りを行う 怪我しやすい入居者、怪我しやすい状況を分析し、未然に防ぐ方法及びケアの仕方を考える。また、その方法及びケアの仕方を、ユニットの職員全員が出来る様にする。特に新任職員には、事故予防の正しい認識を得る様に、丁寧に説明する。</p> <p>② 介助具や住環境の点検 ・使用している良肢位枕のサイズ、素材は適当か随時見直しを行う。 ・室温、衣類は適度に調整されているか ・ベッド、車椅子で食事をするために適切な姿勢になっているか。安楽姿勢であるかなど。 毎回細やかに観察を行い、改良していく。</p>
10	1 入居者のニーズに対応した個別ケアの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他部署との連携を図り質の高いチームケアを行う ・ 入居者の抱える障害や疾病を理解した、適切なケアと丁寧なサービスの提供 ・ 園内研修などで学んだ内容を意識したケアを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース記録と申し送りノートの情報を把握し、統一したケアの実施と職員間の「報告・連絡・相談」の徹底 ・ 入居者の状態の変化やケアプラン変更時の24時間シートの見直し。 ・ 入居者とコミュニケーションを図り、施設での生活が充実したものになるよう、季節が感じられる花見や誕生会のオヤツレク等、楽しめる時間をつくる。 ・ 職員間で改善すべき点や問題点を話し合い自己研鑽に努める。
11	<p>1 職員間の連携</p> <p>2 統一した個別ケア</p>	<p>1 報告、連絡、相談を欠かさない。</p> <p>2 仕事に対するチームワークの強化 ・ 日々のお年寄りに対しての観察</p>	<p>1 普段から職員間で話のしやすい状態を作っておく</p> <p>2 申し送りノートの活用</p>

2019年度 デイサービスセンター 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】 注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)	
1 理念の継承	地域ニーズに即した事業の推進	①地域の中での社会福祉事業としての位置づけを理解する ②上富田町における地域包括ケアシステムの発展と深化に協力する	①現場スタッフのケースカンファレンス参加 スタッフの対人援助の能力を向上 ②上富田町地域ケア個別会議への参加	①現場スタッフのケースカンファレンスへの参加を増やし本人家族の思いを直接現場に取り入れる形を推進する。 ②上富田町地域ケア個別会議にあつては通所介護事業所として自立支援に資するケアが行えているかどうか丁寧に検証していく。	
2 サービスの質の向上	事業運営の安定	新規顧客の獲得 稼働率の向上	年間 5000人以上の利用	①プログラムの充実 ②ご家族・地域との結びつきを強化し、パーセルインデックス等を居宅事業所に毎月示し、ご家庭には通所時の様子や定員の稼働状態を継続して報告。	自立支援に資するケアに対応したプログラムの充実を図り、参加者にとって魅力のあるデイサービスにしていく。 毎月パーセルインデックスなどを丁寧に評価しながら、これらを居宅介護支援事業所にフィードバックしていく。 ご家族に対しては連絡帳を工夫しより充実した情報共有がなされるようにする。
	通所介護計画に沿ったサービス提供	通所介護計画の周知徹底	通年	ケアプランの策定、検討の機会を頻度を増やす 全員が同じ方向性を持つて個別ケアに対応する。	現場スタッフのケースカンファレンスへの参加を増やす ケアプランを検討する頻度を密にし、個別の生活背景・要望・ニーズ・目標等を理解した上で個別ケアを行う事が出来る体制作りを目指す。
	ケアにおけるスタッフの負担軽減	ノーリフトケアの実践を徹底	通年	重介護の利用者が増加する中、職員の腰痛予防および事項防止の為に、油圧電動リフターを導入して、安全に使用できるようにスタッフ全員でトレーニングを行う	リフターの導入は職員の意識改革が求められることから、丁寧にまた徹底した使用を心がけていく。また、利用者にあつても助助方法が変更される事から、不安を与えない丁寧な説明を行いながら具体的なケアを行っていく。
	記録の電子化による業務の効率化	業務の中で記録を各種帳票に転記する時間に多くの時間を割いていことへの対応	年度前半までに	ipadを使用した電子的な記録アプリを導入し迅速で確実な記録を実現する。	記録方法の変更は職員の相当な意識改革が必要ことから、キーボードやタッチパネルの使用方法を丁寧に指導しながら、浸透させていく。
3 職員の資質向上	業務の標準化	通年	業務マニュアルの更新 部署内会議にて検討	業務マニュアルの再編を部署内会議にて全員で検討 一般の介護マニュアル・サービス規程・運営規定等と照らし合わせながら事業所のマニュアルを再構築する。	慣例として引き継がれたケアの行い方を、利用者個別のケア手順書を確立していく。このことで法改正に対応した事業運営に近づける作業を全員で行う。

B. 主要月次予定

	4月	5月	6月	7月
上旬	花見			とれとれ市場
中旬		新緑ドライブ 新庄公園	花壇 花植え	
下旬				
	8月	9月	10月	11月
上旬				
中旬	夏祭り	敬老の日	コスモス畑 外出	
下旬				紅葉ドライブ
	12月	1月	2月	3月
上旬		初詣 鬮鶏神社		
中旬			梅見ドライブ	菜の花畑
下旬	クリスマス会			

2019年度 居宅介護支援事業 事業計画

「丁寧」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
1 理念の継承	①理念・使命の継承 神愛会の理念に則り、居宅において最期のときまで個人が尊重され、自律した生活ができるように生活を支えていく。	居宅介護支援事業所における特定事業所加算の要件にある事業所内で概ね週1回開催する定期的な会議で、毎月1度はこれらの理念を確認する。	管理者が事業所内の会議において、神愛会の理念と介護支援専門員の倫理綱領の親和性が高いことを確認しながらそれぞれが関わる事例の方向性なども踏まえて深く思考できるようにする。	利用者に対する支援について倫理性が高まれば結果として丁寧なケアマネジメントプロセスが行われるわけでありその実現に向けた介護支援専門員個々の高い対人援助と業務マネジメントを志向する。
2 サービスの質の向上	①地域包括ケアの推進 ①上富田町で開催される地域ケア会議を地域包括ケアを推進するエンジンとして機能させるためにその開催意義を理解したうえで積極的に協力していく。 ②上富田町が開催する地域ケア個別会議へ建設的に参加協力していく	①毎月1回開催される上富田町地域ケア会議に必ず参加し事例検討などを通して参加する他の専門職などと共に地域課題を明らかにしていく。その結果、生活のしづらさを抱えた人であったとしても安心して生活できる地域が実現できるように積極的なかわりを惜しまない。 ②今年度中に数回行われることが予定されている地域ケア個別会議の趣旨を理解し、自らの介護支援計画の精査と地域課題の抽出に協力する。	①上富田町地域ケア会議において、事業所として個別事例の提出はもとより、主任介護支援専門員が中心となって検討される事例の分析を行い具体的な解決策の模索とかかわる介護支援専門員の支援、そしてその過程で明らかになる地域課題の抽出と分析を行う。 ②介護支援専門員それぞれが地域ケア個別会議へ提出する事例が割り当てられれば、必要な様式に仕上がって、町の担当者やアドバイザーに適切に説明できるようにする。	①上富田町地域ケア会議は地域課題を明らかにし、様々な事例にかかわる介護支援専門員の支援を行う会議体であるが、その役割が丁寧に行われるためには会議の構成員の意識の醸成が欠かせない。この事にも着目して特に主任介護支援専門員の働きを強化する。 ②上記上富田町地域ケア会議と同様、丁寧に個別事例を精査することで上富田町における地域課題を抽出し、その解決に向けて関係者同士が建設的に協働していくことで、地域ケアシステムの深化を実現していく。
	②田辺西牟婁地域における医療介護連携の推進 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会への直接的な協力を行うしていく。	月1回開催される一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会の研修事業について協力していく。	田辺西牟婁地域における医療介護連携にかかる様々な事業への積極的な参加、および医療と介護の連携ツールである「くろしおNET」の運用の強化を行う。	左記進める会での研修事業などを丁寧に丁寧に行う事で、田辺圏域の医療と介護の連携がより良く深まり、患者、利用者の生活に寄与できるようにする。
3 職員の資質向上	①研修の見直し・充実 ①和歌山県介護支援専門員協会主催の研修への参加 ②田辺西牟婁地域で開催される、医療、介護、福祉関係の研修への参加。これらは主任介護支援専門員更新のためにも必要であるため、積極的に参加していく。	①ケアマネジメントの専門性を高めより良い支援が行える力をつけるために積極的に研修へ参加する。 ②和歌山県介護支援専門員協会のメールマガジンの研修案内等を参考に研修情報を収集しより適切で効果的な研修が受講できるようにする	介護支援専門員それぞれが業務マネジメントを精密に行い、できるだけ効果的な研修に参加できるようにする。	研修に参加した成果を事業所内および場合によっては上富田町地域ケア会議において丁寧に共有し、事業所全体の資質向上につながるようにする。
	②研修参加と資格取得 ①介護支援専門員指導者レベルの研修への参加 ②近畿介護支援専門員研究大会IN大阪への研究発表を上富田町地域ケア会議の構成員とも協力しながら実現する	①左記の研修に参加した上でその研修の到達目標に沿った力が養われる。 ②上富田町地域ケア会議において研究テーマとそれを実現するプロセスを協議し昨年より良い研究発表にできるようにする	主任介護支援専門員が具体的な研究発表ができるように、上富田町地域ケア会議構成員と協働で準備をすすめる。	研修に参加した成果を事業所内および場合によっては上富田町地域ケア会議において丁寧に共有し、事業所全体の資質向上につながるようにする。

B. 主要月次予定

	4月	5月	6月	7月
上旬	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)
中旬	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会
下旬			日本ケアマネジメント学会IN仙台への参加	ソーシャルワーカーへの参加 主任介護支援専門員更新研修へ参加
	8月	9月	10月	11月
上旬	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)
中旬	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会
下旬				
	12月	1月	2月	3月
上旬	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)
中旬	上富田町地域ケア会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会	上富田町地域ケア会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会	上富田町地域ケア会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会	上富田町地域ケア会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会
下旬			日本社会福祉士会近畿ブロック研究・研修大会IN京都への参加	近畿介護支援専門員協会研究大会IN大阪への参加

2019年度 深和ホーム 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
1 理念の継承	キリスト教精神に基づいて運営されている施設である事の自覚をもって、業務に当たる。	年間を通して。	朝のレポートで、各部署の1日の業務の共通理解、申し送り事項の把握、対応。	各自の使命感の自覚。
2 サービスの質の向上	①高齢化に伴う入居者の安全・安心な生活支援。	年間を通して。	必要に応じて、介護認定の声かけ。入居者の状態把握。訪問介護、看護、ケアマネとの連携。	関わる者が連携して、入居者の方々に安心・安全な生活支援をするという気持ちをもつこと。入居者の方々の介護、利用しているサービス内容を把握し、必要に応じ入居者の方々に説明をする。
	②老朽化した建物の維持管理。	年間を通して。	自分達で行える事は行う。必要時業者に依頼。	皆で意見を出し合う。各自が関わっているという認識を持つ。申し送りをきちんと行う。

B. 主要月次計画

	4月	5月	6月	7月
上旬	消防点検(県防災)			ボイラー点検(白浜住設)
中旬	春の花見	消防点検(県防災)	ふれあい行事	電気保守点検(関電)
下旬	ボイラー点検(白浜住設)	電気保守点検(関電)		
	8月	9月	10月	11月
上旬		電気保守点検(関電)	消防点検(県防災)	建物検査(竹中工務店)
中旬	ふれあい行事		ふれあい行事	電気保守点検(関電)
下旬			高架水槽点検(大都環境サービス) ボイラー点検(白浜住設)	
	12月	1月	2月	3月
上旬		元旦の祝膳		ひな祭りの祝膳
中旬	北側窓清掃(双美清掃)	ボイラー点検(白浜住設)	ふれあい行事	電気保守点検(関電)
下旬	クリスマスイブの祝膳			